

## 『白岡市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画（素案）』に対する意見及び対応一覧

素案 頁	指摘箇所	意 見	対 応	修正案 頁
P53～ P55	「(5)認知症施策の推進」の中に追加	<p>令和4年度高齢者等実態調査報告書の中で「認知症に関する相談窓口を知っていますか」の質問に「いいえ 75.7%」の回答が出ていますが、前回（令和元年度）の実態調査報告書の「いいえ 76.3%」の回答とほとんど変わっていません。これは「認知症に関する相談窓口の認知度」に関して、前回（第8期）の計画に基づく事業では改善できなかった、不十分だったということを示しています。</p> <p>先日、地域包括支援センター・ウェルシアハウスにて行われた「認知症がある方のVR体験」は、定員に達し参加できない人が出る程の人気でした。また、久喜市では地域包括支援センター（5ヶ所、市直営包括含む）にて「記憶力チェック体験ともの忘れ相談会」を年計10回、認知症サポーター養成講座を年計4回以上行っています。</p> <p>認知症に関する相談窓口もわからないという状況を改善するために、白岡市として予算をつけて、これまでよりも多くの認知症支援の事業を白岡市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画「(5)認知症施策の推進」の中に追加し、実施してください。</p>	<p>現行のままとします。</p> <p>計画に掲載している事業をはじめとして、地域包括支援センター等との連携により多くの事業を実施し、認知症支援に関する事業の充実を図ってまいります。</p>	
P54	「認知症ケアパス」の言葉・内容を修正	<p>「認知症ケアパス」は「認知症支援の手引き」「認知症支援ガイドブック」などわかりやすい表現に修正してください。「認知症ケアパス」という言葉では意味がわかりません。（サービス提供の流れ）と書かれていますが、その説明では不十分と思います。</p>	<p>「認知症ケアパス」を「認知症ケアパス 認知症支援の手引き」に改め、内容を見直しました。</p> <p>これに伴い、計画書の記載も改めました。</p>	P70

		<p>また、現在ホームページに載っている「認知症ケアパス」は R3.5 月作成で内容が更新されていません。秩父市や狭山市の認知症疾患医療センターが載っている一方、市内の認知症サポート医や新しらおか病院（認知症精神科）が載っておらず、「福祉の総合相談窓口」も載っていません。「相談窓口」のページを前のほうに移動するなども含め、その内容を修正してください。</p>		
P15～ P19	<p>「認知症に関する相談窓口を知っていますか」の調査項目を掲載</p>	<p>令和4年度高齢者等実態調査報告書の議論の中で「認知症に関する相談窓口を知っていますか」の質問に「いいえ 75.7%」の回答が出ていることは重要なポイントという認識だったと思いますが、今回の第9期の計画（素案）には載っていません。</p> <p>第8期の同計画には載っているので、第9期にも載せてください。</p>	<p>現行のままとします。</p> <p>市では、認知症の相談窓口については、地域包括支援センターが第一であると考えております。</p> <p>同じく高齢者等実態調査において、地域包括支援センターの認知度については 32.8%が知らないという結果でした。</p> <p>このため、第9期計画では地域包括支援センターの認知度についての調査結果を掲載しています。</p> <p>今後も、認知症の相談窓口については、より一層の周知を図ってまいります。</p>	P26
P30～ P32	<p>「虐待が疑われるケースがありましたか」の調査項目を掲載</p>	<p>上記と同様ですが、調査報告書のケアマネージャーへの「虐待が疑われるケースがありましたか」の質問に「ある 21.2%」の回答が出ていましたが、第9期の計画（素案）には載っていません。</p> <p>第8期の同計画には載っているので、第9期にも載せてください。</p>	<p>「今後の主な課題」－「介護サービスの充実」の項に、当該調査結果及び虐待防止のための支援について追記しました。</p>	P47

P34	「認知症対策」の内容を修正	「認知症対策」の文章の中に、上記の認知症の相談窓口の認知度の割合が「いいえ 75.7%」となっていることが書かれておりません。重要なポイントと思いますので書き加えてください。「介護サービスの充実」の項目が丁寧に書かれているので、なお、記載が不十分に感じられます。	「今後の主な課題」－「認知症対策の充実」の項に認知症対策における課題についての記載を増やしました。	P46
全般	「令和4年度高齢者等実態調査報告書」から重要な調査項目を抽出	令和4年度高齢者等実態調査報告書は同計画を作成するために行ったものですし、同調査報告書の議論の中で「クロス集計等を行って、関連性が高い調査項目を抽出したほうがよい」という話があり、高齢介護課の職員の方からも、それを考えている旨の発言があったと記憶しているのですが、どうなったのでしょうか。 関連性の高い重要な調査項目がわからないと、よくわからないまま、同計画を作成することになってしまうと思います。	第9期計画を作成するに当たり、高齢者等実態調査の結果についてのクロス集計から得られたデータを活用しております。 クロス集計による分析結果については、介護サービス見込量の推計の際の参考にしている他、認知症対策に関する施策などの課題把握に活用しています。	
P40	「施策の体系」の内容の一部を修正	基本方針1の「地域包括ケアの深化・推進」を基本目標1の「地域共生社会の実現」と入れ替えてください。言葉の意味として「地域共生社会の実現」のほうが大きいです。 また、この部分は「施策の方向」に「認知症施策の推進」が明記されている第8期の同計画の表現と同じでよいと思います。	基本方針と基本目標について再検討し、基本目標1を「地域支援事業の充実」に改めました。	P51
P50	「権利擁護業務」の内容の一部を修正	「を行う支援事業」の部分を削除してください。行っているのは相談支援であり、形のある支援事業を行ってはいないからです。 それに伴い、「支援体制」を「相談支援体制」に修正してください。	相談により把握した虐待事例への対応等の支援を行っています。 このことについて、【現状】の記載を修正しました。	P66

P51	「地域ケア会議」の内容の一部を削除	「自立支援型地域ケア会議」の部分を削除し、文章を修正してください。「自立支援型地域ケア会議」は和光市元保健福祉部長の東内京一氏が「和光市モデル」として全国的に広め、有名になった言葉ですが、東内京一氏は生活保護受給者等から計約8千万円をだまし取るなどの窃盗・詐欺・業務上横領によりR3.9月に懲役7年の判決を受けています。そのような人が広めた言葉を白岡市の計画に載せるべきではありません。ちなみに和光市の第8期介護保険事業計画（R3.3月作成）には「自立支援型地域ケア会議」という言葉は載っていません。	「自立支援型地域ケア会議」の文言を削除し、記載を修正しました。	P67
P53～ P55	「認知症高齢者見守り事業」「認知症サポーター養成講座実施事業」を追加	「(5)認知症施策の推進」の中にP57の認知症高齢者見守り事業（高齢者見守りネットワーク）及びP60の認知症サポーター養成講座実施事業を追加し、P57とP60にはそれらを「再掲」で載せてください。第8期の同計画の表現と同じでよいと思います。 また、実施回数を載せたほうがよいと思います。「認知症高齢者声かけ模擬訓練」の実施回数との整合性も保てます。	P71に「※認知症高齢者見守り事業（高齢者見守り支援ネットワーク）は64ページに、認知症サポーター養成講座実施事業は67ページに掲載しています。」と追記しました。 また、認知症サポーター養成講座の実施回数を追記しました。	P71 P77
P89		会議でも意見を提出しましたが、周囲の人たちの意見を聞いても大部分の方が使い勝手が悪いので使わないようです。白岡中央総合病院の移転も控えていることから、現状ののりあい交通では到底ニーズをカバー出来るとは思えないので、今からけんちゃんバスの充実への要請、もしくは公共交通バス路線の計画を始める必要があると考えます。	のりあい交通について、車両の増加、予約の簡便化などの具体的な利便性向上策について追記しました。	P109